

瓢箪栽培の起源

瓢箪は約1万年前（縄文時代）から人間によって栽培されていました。この時代、人間は作物を作ることなくドングリや貝などを食べて暮らしていたと言われています。

我国で、人間が最初に栽培したのが瓢箪と言われています。それは、瓢箪以外に容器になるものはなく、瓢箪が生活必需品であったと言われています。

そして、瓢箪は動物に食べられることによって、種をばらまくのではなく、人間によって子孫繁栄を図ってきました。人間を頼り、人間に尽くし、人間と共存することで、生き延びてきたと言われています。

※文書は全日本愛瓢会発行の「ひょうたんの育て方と作品づくり」から引用

